



校訓「まごころ」

「学校教育目標」

たくましく かしく 思いやりのある 宮良の子

めざす学校像

- 児童が通いたくなる学校
- 保護者が通わせたい学校
- 教師が勤めたい学校
- 地域が応援したい学校

重点目標（めざす児童像）

- 健康で夢を描ける子
- 自分の考えをもち、課題解決に挑戦する子
- 人や地域を大切に、協働する子



育てたい資質・能力

自己理解・自己管理能力 課題対応能力 人間関係形成・社会形成能力

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- ①自分をみつめ、良いところをのばすができる。
- ②多様な考えを認め、自分の考えを持ち、主体的に判断し、課題解決に取り組むことができる。
- ③他者と関わり、学習したことや体験したことを生かして考え、協働することができる。

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①自分の活動を振り返り、改善につなげようとしている。
- ②多様な考えを参考に自分の考えを持ち、主体的に判断することで、課題を解決しようとしている。
- ③学習したことや体験したことを生かし、自信や責任を持って他者と関わりながら活動したり、行動したりしている。

子供の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導

- 児童理解・居場所づくり（個に応じたきめ細やかな対応）
- チーム対応（職員間の情報共有及び関係機関との連携）
- 個別最適な学びの推進（ICT機器の活用）

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ①基礎学力（漢字・計算・教科言語・語彙）の定着
- ②学習活動における振り返りの活用
- ③「学び方」を学ぶ（自学自習の習慣化）

どのように学ぶか ○教育課程の実態

- ①石垣市スタンダード及び県学力向上推進プロジェクトⅡをおさえた授業実践
- ②単元を見通した授業改善
- ③自学自習ができる学習指導、家庭への情報提供・協力依頼

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修・校内研究体制の充実 □隣学年部会の充実 □スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携
- 特別支援学校との交流活動・連携 □保・幼・こ・小・中の円滑な接続 □地域・保護者との情報共有及び連携、協働 □学校施設の整備

安心・安全を守る

- 教育活動全体における安全対策
- 「自分の命は自分で守る」子の育成（保健・安全・防災教育）
- 安心・安全な居場所となる学校
- 地域・保護者・関係機関と連携した安全指導（パトロール・立哨指導）
- 校地の環境整備

地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会の設置及び運営（石垣市コミュニティ・スクールモデル校）
- 宮良公民館憲章に基づいた公民館との連携
- 地域の人材、教材を生かした学校教育の推進
- 学校評価の実施と結果公表
- 積極的な情報発信（学校だより、学年・学級だより、ホームページ等）